

日本社会保障法学会会報第 50 号

発行日：2024.4.1 発行人：片桐由喜 編集人：嵩さやか 発行：日本社会保障法学会
本部事務局住所：〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 27-1 東北大学大学院法学研究科
嵩さやか研究室気付
Tel：022-795-6201 Fax：022-795-6249（共用）E-mail：sslawbureau@gmail.com
URL：http://www.jassl.jp/ 会員数：438 名（2024 年 4 月 1 日現在）

代表理事就任のご挨拶 第 22 期代表理事 西田和弘（岡山大学）

第 22 期代表理事就任にあたりご挨拶申し上げます。

35 年前、東京からおんぼろ車に乗って能登半島の先端あたりに行きました。バイパスも開通していなかった国道 249 号線を通って、やっとの思いでたどり着いた記憶があります。風光明媚な能登の自然や、のどかな市民生活が一瞬のうちに、また、よりによって年末年始で帰省した家族と新年を祝うところを地震・津波・火災が襲うという状況に心を痛めるばかりです。被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、復興に尽力されている皆様に感謝申し上げます。

被災時に最も生活が困難になるのが、高齢者・障害者などの社会保障法の対象者です。学会においても、阪神淡路大震災、東日本大震災を契機としたシンポジウム（1997 年の第 32 回大会、2012 年の第 62 回大会）が開催されました。自然災害の多い日本では今後も避けられないテーマです。ただ、同じ議論を繰り返す必要がないよう、政策の進歩が求められます。このご挨拶を書いている段階でも、能登半島地震における支援の個別課題を耳にします。何も進化していなかったとの総括にならないことを願っています。想定外の範囲をできるだけ狭くして、想定していくことが重要です。

想定外・想定内といえ、この何年間かのコロナ禍を思い出します。昨年 5 月の第 78 回大会は 4 年ぶりの対面開催となりました。急遽中止となった 75 回大会時に事務局長として、当時の新田秀樹代表理事（19 期）とともに、苦渋の決断をしたことが思い出され、対面開催の喜びをかみしめました。この間代表理事をお務めになられた菊池馨実理事、片桐由喜理事をはじめ、執行部の皆様を中心とした様々な改革に深く感謝申し上げます。また、本年は学会創設 40 周年記念の『現代社会保障法学の論点【上巻】【下巻】』も出版されます。編集委員会、執筆者の皆様にご挨拶申し上げます。

ところで、近年の社会保障施策には、目的においては正当であっても、手段において不当、もしくは妥当ではないといったものが見受けられるように思います。一例を挙げると、「異次元の少子化対策」の財源のうちの 1 兆円を医療保険料に上乗せして確保しようとする「支援金」制度です。保険事故と給付を全く無視した徴収の仕方で、社会保障法として看過できないところです。私も、菊池理事が著作で示されるように、「規範的政策策定指針の提示は社会保障法の重要な使命」だと考えますが、為政者がその指針を一顧だにしなければ、目的のためには手段を選ばず、取りやすいところから取り、社会保障制度をゆがんだものにしてしまいます。会員の皆様の積極的かつ重厚な研究活動、社会貢献活動、情報発信が、社会変化に対応しつつも確固たる指針に基づく法制度を構築する道につながると思います。そのお手伝いができるような学会運営を心掛けていきたいと思っております。

第 79 回大会によせて 第 21 期代表理事 片桐由喜（小樽商科大学）

本年 5 月の第 79 回大会はライラックの花薫る札幌での開催です。

同大会では 1 日目に大シンポジウム、2 日目にミニシンポジウム 1 本が行われます。大シンポジウムのメインテーマは介護保険制度です。創設以来、およそ四半世紀が経過した介護保険制度は私たちの生活に定着し、支えられる高齢者とその家族は増え続けています。一方、同制度の持続可能性をめぐる様々な課題が指摘されています。大シンポジウムでは介護保険制度をこれまでになく切り口でこれら諸課題を検証します。ミニシンポジウムは社会保障法学が貧困を法学的視点から十分に分析してこなかったのではないかと問題意識に基づいて、「社会保障法と貧困」をテーマに掲げます。本ミニシンポジ

ウムでは社会的排除がキーワードとして登場し、興味深い報告が展開されます。

さて、本学会は2001年に『講座社会保障法』、2012年に『新・講座社会保障法』を刊行してきました。そして、本年2024年5月、3番目の学会講座本が刊行予定です。同講座本は2020年の本学会理事会で出版企画が提起され、翌2021年には新学会講座準備委員会、2022年に同編集委員会がそれぞれ立ち上がり具体的な作業にとりかかりました。同講座本は社会保障法学の現時点での到達点を示すというミッションのもと、総論・各論の2巻、各巻15本の論稿で構成されています。法律学としての社会保障法学を確固たるものにし、あわせて学界、および実務の両サイドから参照される意義ある学術書となるはず

です。
昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり、それから1年。本大会は新型コロナウイルス感染症流行前の開催方式に完全復帰します。すなわち、シンポジウム後の会員同士の情報交換会を再開し、シンポジウムでの質疑応答で語り尽くせなかったあれこれを語り合う場を設けます。充実した報告・質疑応答をご期待いただき、あわせて、5年ぶりの情報交換会にぜひ、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

第79回大会開催案内 事務局長 嵩さやか（東北大学）

日本社会保障法学会第79回大会が下記の通り開催されます。皆様お誘い合わせの上、ご参加いただきたく存じます。

・日 時：2024年5月25日（土） 9：30～17：00（9：00 受付開始）

5月26日（日） 10：00～13：00（9：30 受付開始）

・会 場：北星学園大学・大谷地キャンパス

（〒004-8631 北海道札幌市厚別区大谷地西 2-3-1）

総会・シンポジウム会場：C館 7階 C700教室

大学までの交通、大学内の案内につきましては本会報末尾をご参照ください。

お問い合わせ先（web版では掲載しません）（北星学園大学社会福祉学部 加藤智章研究室）

・大会次第

第1日目 2024年5月25日（土）シンポジウム・総会

シンポジウム

「介護保険を再考する：介護保障における介護保険の役割」

司会：西田和弘（岡山大学）・石田道彦（金沢大学）

○石田道彦（金沢大学）……………9:30～9:35

「趣旨説明」

○玉川淳（神奈川県立保健福祉大学）……………9:35～10:15

「介護保険と地方公共団体」

○永野仁美（上智大学）……………10:15～10:55

「介護保険と年齢」

○川久保寛（北海道大学）……………10:55～11:35
「介護保険と介護サービス事業者」

開催校あいさつ・総会……………11:35～12:10

休憩（昼食）……………12:10～13:10
（昼食会場：A館 7階 A703教室）

○福島豪（関西大学）……………13:10～13:50
「介護保険と家族」

○原田啓一郎（駒澤大学）……………13:50～14:30
「介護保険と高齢者の地域生活支援」

休憩……………14:30～15:00

○質疑応答……………15:00～17:00

大会第1日目終了……………17:00（予定）

17:30～ 情報交換会（大会終了時刻により遅れることがあります。）

第2日目 2024年5月26日（日）ミニシンポジウム

ミニシンポジウム

「社会保障法と貧困」

司会：秋元美世（東洋大学）

○秋元美世（東洋大学）……………10:00～10:08
「問題提起」

○島村暁代（立教大学）……………10:08～10:38
「高齢者の社会保障と貧困」

○伊奈川秀和（東洋大学）……………10:38～11:08
「子どもの社会保障と貧困」

○常森裕介（東京経済大学）……………11:08～11:35
「社会保障法と貧困」

休憩……………11:35～11:50

○質疑応答……………11:50～13:00

大会第2日目終了……………13:00（予定）

※**前回大会と同様、大会の出欠登録、昼食申込み及び情報交換会申込みは、原則としてオンラインとなります**（詳しくは、9頁「<重要> **第79回大会の出欠登録・昼食申込み・情報交換会申込みについて**」をご覧ください）。

※昼食代金は1,000円です（当日現金にてお支払いください）。昼食を申し込まれた方は必ずご購入ください。第2日目の昼食の用意はありません。学会当日は学内の食堂は休みです。大学周辺の飲食店も少ないため、第1日目の昼食は各自持参して頂くか、お弁当をお申込みください。

※情報交換会への参加を希望された方は、大会当日、受付にて情報交換会券を購入してください。費用は、8,000円です。情報交換会の会場は、北星学園大学生協2階です。

第79回大会時各種会議案内 事務局長 嵩さやか（東北大学）

5月24日（金）13:00-16:00	企画委員会	C館 7階 C701 教室
5月24日（金）16:00-17:30	理事会（第21期）	C館 7階 C702 教室
5月24日（金）17:30-19:00	理事会（第22期）	C館 7階 C702 教室
5月25日（土）12:10-13:10	理事会（第22期）	C館 7階 C702 教室

第79回大会時その他案内 事務局長 嵩さやか（東北大学）

5月25日	シンポジウム報告者・司会者控室	C館 7階 C701 教室
	昼食会場	A館 7階 A703 教室
5月26日	ミニシンポジウム報告者・司会者控室	C館 7階 C701 教室

企画委員会からのお知らせ 企画委員長 嶋田佳広（龍谷大学）

第79回大会は、2024年5月25日（土）・5月26日（日）の二日間の日程で、北星学園大学（北海道札幌市厚別区）において対面方式により開催されます。報告は、シンポジウムとミニシンポジウムから構成されます。今回は個別報告はございません。

第1日目は、一日全体を使いたいいわゆる大シンポジウムです。「介護保険を再考する：介護保険における介護保険の役割」のテーマのもと、石田道彦会員、玉川淳会員、永野仁美会員、川久保寛会員、福島豪会員および原田啓一郎会員より、趣旨説明を含む報告がおこなわれる予定です。

第2日目は、午前を中心とするミニシンポジウムとして「社会保障法と貧困」がもたれます。秋元美世会員、島村暁代会員、伊奈川秀和会員および常森裕介会員による報告が予定されています。

第80回大会については、2025年5月下旬の開催に向けて現在調整を進めているところです。まず、「精神障害者の地域生活保障」を仮テーマとした大シンポジウムの準備が進行中です（担当理事：矢嶋里絵会員）。精神障害に的を絞ったおそらく初の試みとなるものと思料いたします。さらに二件のミニシンポジウムを予定しております。一つは、「社会保険事業の法的課題－雇用保険・介護保険における本体給付類似の「事業」を中心に－」（担当理事：丸谷浩介会員）、もう一つは「引退過程における所得保障の公私役割分担－いわゆるWPP構想を素材とした再検討」です（担当理事：未定）。いずれも、社会保障法の課題をより広い視角から捉えようとするものであり、意欲的なものとなっています。

なお各企画の貼り付け方が例年とは異なる予定ですのでご注意ください。初日に大シンポをおこないますが、続く二日目は二つのミニシンポジウムが同時進行による開催となります。ご不便をおかけすることになります。ご海容たまわれれば幸いです。

個別報告については、エントリーを受付中です。エントリーの締め切りは、2024年9月30日となっております。ご希望の際は、企画委員長までお申し出ください。

第81回大会以降に関しまして、企画委員会において鋭意検討中ですが、取り上げるべきテーマや深めるべき議論についてご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。報告方法を含む大会運営についても検討を継続中です。この点につきましても会員各位のご所見をいただければと思います。企画委員長ないしはお近くの企画委員までお声がけいただければ幸いです。

学会誌投稿論文の募集について 企画委員長 嶋田佳広（龍谷大学）

下記の要領にて、学会誌投稿論文を募集しています。奮ってご応募たまわりますよう、お願い申し上げます。

記

- 1 学会誌に発表する論文は未発表のものに限ります。
- 2 投稿者は本学会会員に限ります。
- 3 投稿された原稿は、論文審査委員会が内容を考慮して選定した論文審査委員に、氏名を伏して審査を委嘱します。その結果に基づき、論文審査委員会が採否を決定します。採用された原稿の掲載方法等については、学会誌編集委員会決定します。
- 4 採用にあたっては、より一層内容の充実を図るために、補筆や修正等をお願いすることがあります。
- 5 原稿の分量は、原則として、14,000字（200字詰め原稿用紙70枚）以内とします。
- 6 執筆要領は、別にお渡しします。応募ご希望の方は、学会事務局まで請求してください。なお、公正な審査を行うため、執筆者を特定・推定させるような表現はお避け下さい。たとえば、注の中で投稿者自身の執筆論文・著書を引用する場合には、「拙稿」といった表現は用いずに、他の執筆者の論文等の引用と同じスタイルで引用してください。
- 7 英文タイトルおよび英文要約（200語以内）を必ずつけてください。
- 8 投稿論文は、PDFファイルで作成した原稿を学会事務局までメールで送付してください。提出された原稿は、採否にかかわらず返却いたしません。
- 9 締め切りは、2024年5月31日（必着）とします。＊学会誌第40号の発刊にあわせませす。
（メールの送付先）mail to: sslawbureau@gmail.com

学会奨励賞候補作品の募集について 企画委員長 嶋田佳広（龍谷大学）

2024年度学会奨励賞候補作品の推薦（自薦も含む）を、下記の要領で承ります。
なお、推薦された候補作品は審査委員会で審査の上、受賞者は総会で表彰いたします。

記

- 1 対象作品：2024年（1月から12月）に公刊された著作および論文
- 2 著者・筆者の年齢：当該著書・論文公刊時に40歳未満の会員
- 3 受賞者数：原則として1名
- 4 締め切り：2025年1月31日
- 5 推薦の宛先（事務局移転のため、2024年6月1日以降は、下記の住所ではなく、学会ホームページ記載された「新」本部事務局あてにお送りください。）
〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院法学研究科 嵩さやか研究室気付
日本社会保障法学会事務局 E-mail: sslawbureau@gmail.com

学会誌編集委員会からのお知らせ 編集委員長 中川純（東京経済大学）

- ・学会誌39号は、予定通り2023年12月に刊行いたしました。厳しいスケジュールの中、ご執筆いただいた会員のみなさまには改めてお礼申し上げます。また、40号以降も同様のスケジュールで取り組む予定です。会員のみなさまにはご協力のほどよろしくお願いいたします。
- ・79回大会では編集委員会（39号）の開催を予定しておりません。編集委員会詳細については追ってメールにてお知らせいたします。

新学会講座編集委員会からの報告 編集委員 石田道彦（金沢大学）

新しい社会保障法学会講座が2024年5月に日本評論社より刊行されます。ご執筆いただいた会員の皆様、出版をお引き受けいただいた日本評論社に心より御礼申し上げます。

今回は2001年、2012年に続く3回目の学会講座の刊行となります。新講座は『現代社会保障法学の論点』のタイトルで「上巻・基本的論点」と「下巻・現代的論点」の2巻で構成されています。前回の講座刊行以降の制度改正や社会情勢の変化、本学会における議論の蓄積をふまえて、新たな時代を展望する学会講座になっております。

会員各位におかれましては、ぜひ新講座をご購入いただくとともに、会員の皆様が関係されている図書館、資料室等での購入を働きかけてくださいますようお願い申し上げます。

理事・監事の選出について 選挙管理委員長 小島妙子（仙台弁護士会）

第22期理事・監事選挙の開票結果についてご報告いたします。

（理事選挙）

1. 開票日時 2024年2月9日（金）14時～17時
2. 開票場所 東北大学 エクステンション教育研究棟 520号室
3. 有権者総数等 有権者総数416名中投票者数118名、有効投票者117名
投票総数 $117 \times 5 = 585$ 票
4. 有効投票数等 有効投票数585票（白票数5票）、無効投票数0票
5. 選挙結果（50音順、敬称略）

当選	石田道彦	笠木映里	片桐由喜	金川めぐみ	菊池馨実
	木下秀雄	国京則幸	嶋田佳広	鈴木静	関ふ佐子
	高田清恵	嵩さやか	西田和弘	原田啓一郎	尾藤廣喜
	丸谷浩介	水島郁子	棟居徳子	矢嶋里絵	吉永純

次点 倉田賀世、平部康子

（監事選挙）

1. 開票日時 理事選挙に同じ
2. 開票場所 理事選挙に同じ
3. 有権者総数等 有権者総数416名中投票者数118名、有効投票者117名
投票総数 $117 \times 2 = 234$ 票
4. 有効投票数等 有効投票数234票（白票数9票）、無効投票数0票
5. 選挙結果（50音順、敬称略）

当選 神尾真知子 山田晋

次点 秋元美世

代表理事の選出について 日本社会保障法学会事務局

第22期代表理事選挙の開票結果を以下の通り報告いたします。

1. 開票日時 2024年3月5日（火）10時～10時25分
2. 開票場所 東北大学大学院法学研究科 嵩さやか研究室
3. 開票結果
有権者総数20名、投票者数19名
うち
有効投票数19票、白票数0票、無効投票数0票
当選 西田和弘

○2023年度5月定例理事会（21期）

・日時：2023年5月26日（土）16：00～17：00

・議事内容

- ① 第78回大会について（略）
- ② 第79回大会について（略）
- ③ 第80回大会以降の運営について（略）
- ④ 学会誌投稿論文について（略）
- ⑤ 学会奨励賞について

嵩事務局長より2022年度奨励賞（受賞作：林健太郎『所得保障法制成立史論－イギリスにおける「生活保障システム」の形成と法の役割－』（信山社、2022年））が翌日の総会にて授与される旨の報告があった。

- ⑥ 2022年度決算について

嵩事務局長より2022年度決算について報告がなされ、監査報告を受けて承認された。

- ⑦ 2023年度予算について

嵩事務局長より2023年度予算案について報告がなされ、異議なく了承された。翌日の総会で予算案の承認を求めることとなった。

- ⑧ 入会者承認、退会者報告（略）
- ⑨ 各委員会等より（略）
- ⑩ 新学会講座について

石田理事より、新学会講座について、タイトル、配置の変更、締め切り等が報告され、刊行を2024年春に予定している旨が説明された。

- ⑪ その他（略）

○2023年度10月定例理事会（21期）

・日時：2023年10月21日（土）16:00～17:00

・ハイブリッド会議：対面会議（於 上智大学四谷キャンパス2号館13階大会議室）・オンライン会議

・議事内容

- ① 第79回大会について（略）
- ② 第80回大会について（略）
- ③ 第81回大会以降の運営について（略）
- ④ 学会誌投稿論文について（略）
- ⑤ 学会奨励賞について（略）
- ⑥ 奨励賞審査委員の委嘱について

秋元美世監事、加藤智章理事、木下秀雄理事、丸谷浩介理事、矢嶋里絵理事への委嘱が承認された。

- ⑦ 第22期理事・監事選挙について

片桐代表理事より、第22期の理事・監事選出のための選挙管理委員会発足の提案があり、承認された。嵩事務局長より小島妙子会員・阿部未央会員・武居沙弥佳会員を選挙管理委員としたい旨の提案があり、了承された。嵩事務局長より、選挙管理委員会による「第22期理事・監事選挙実施要項案」の作成後、メール審議により理事会の承認を得る旨の説明がされた。また、嵩事務局長が開票立会人となる旨が説明された。

- ⑧ 学会一時保育担当理事について

2023年10月より、金川めぐみ理事の後任として永野仁美理事の就任が承認された。

- ⑨ 入会者承認、退会者報告（略）
- ⑩ 各委員会等より（略）
- ⑪ 新学会講座について

石田理事より新学会講座の進捗状況が説明され、2024年の春に上下巻同時刊行を予定している旨が

報告された。

⑫ その他（略）

○2023年度臨時理事会（21期）

・日時：2023年11月16日（木）～30日（木）（メール審議）

・議事内容

① 第22期理事・監事選挙実施要項案について

嵩事務局長より、選挙管理委員会で作成した「第22期理事・監事選挙実施要項案」が諮られ、承認された。

入退会のお知らせ 日本社会保障法学会事務局

- ・2023年5月26日の定例理事会で次の4名の入会が承認されました。（以下、敬称略・順不同）
田中謙一（北海道大学）、森田基彦（京都弁護士会）、蔡璧竹（東京大学院）
柿本敬子（愛媛大学院）
- ・2023年5月26日の定例理事会で次の18名の退会が報告されました。
金子和夫、藤木清次、江口隆裕、大曾根寛、笛木俊一、中根真、毛塚勝利、山本克司、鷺野明美、
浜村彰、多田千治、澤静子、山下英子、柴田滋、加藤實、喬夢、山本拓志、小泉浩樹
- ・2023年10月21日の定例理事会で次の1名の入会が承認されました。
原田悠希（東海大学）
- ・2023年10月21日の定例理事会で次の3名の退会が報告されました。
松尾邦之、藤本茂、小俣勝治

事務局からのお知らせ 日本社会保障法学会事務局

○質疑応答の方法について

第79回大会での質疑応答では、前回と同様、紙の質問票のほか、Googleフォームでも質問を受け付けます。可能な限りGoogleフォームにて質問していただきたく存じますので、Googleフォームに接続できるデバイス（パソコン、タブレット、スマートフォン等）をご持参いただけますとありがたく存じます。なお、シンポジウム会場では、ご自身のIDでeduroamに接続できるほか、開催校提供のWi-fiに接続できます。当日学会場にてGoogleフォームへアクセスするためのQRコード及びURLをお知らせいたします。

○会費納入のお願い

年会費は9,000円です。別途送付いたします振込票により、お早めに納入いただければ幸いです。

なお、海外居住等でやむを得ずクレジットカード決済など別の手段でお支払いいただく場合は、手数料は会員個人でご負担ください。手数料等を考慮の上、学会口座に入金される金額が9,000円となるようにお支払いください。

○学会誌バックナンバーについて

学会誌につき、引き続き、会員が所属されている大学等の図書室やご近所の図書館等に購入希望を出していただけますと幸いです。ご注文につきましては、1号から12号までは委託事務局に、13号以降は法律文化社営業部（Tel：075-702-5830）にお問い合わせください。バックナンバー1号から12号までの在庫数は、学会ホームページにてご確認ください。

○英文パンフレットについて

英文パンフレットの残部が事務局に若干数ありますので、ご入り用の方は本部事務局までメールでご連絡ください。

○次回以降の学会大会について

第 80 回大会は、2025 年 5 月下旬に開催の予定です。

○第 79 回大会（2024 年 5 月 25 日、26 日）における一時保育の利用申し込みについて

第 79 回大会においては、大会時間中の一時保育を実施いたします。この一時保育は、北星学園大学構内に開設する一時保育室にて、子育て支援ワーカーズぐるんぱの保育スタッフが保育を行うものです。

利用料金や申込方法は、4 月 10 日（水）までに学会ウェブサイトでお知らせいたしますので、ご利用希望の方はご覧下さい。

この件に関するお問い合わせは、一時保育担当理事の原田啓一郎会員（駒澤大学）、永野仁美会員（上智大学）の 2 名にご連絡ください（メールアドレスは会報印刷版をご参照ください）。

○所属・住所等の変更、会費納入状況について

学会ホームページよりオンラインで会員が直接、確認、変更できます。詳細については学会ホームページをご覧ください。なお、ID・パスワード・会費納入状況は、本部事務局（東北大学）では管理しておりません。お問い合わせは委託事務局にお願いいたします。

○会報の訂正お知らせ・追加情報について

会報発行後の訂正・追加情報については、学会ホームページ・トップページの「お知らせ」欄に掲載いたします。大会前にご確認ください。

<重要> 第 79 回大会の出欠登録・昼食申込み・情報交換会申込みについて

大会の出欠登録・昼食申込み・情報交換会申込みは、原則としてオンラインにて行っていただきます。

○登録方法：学会ホームページ・トップページ「お知らせ」欄の「第 79 回大会【出欠登録・昼食申込み・情報交換会申込み】」をクリックし、出欠登録フォームに必要事項を記入し、ページ下部の「確認画面へ」をクリックしてください。登録内容を確認して「登録する」をクリックしてください。（ID・パスワードは不要です。）

○登録期限：5 月 10 日（金）正午まで（これ以降の登録は受け付けられません）

※出欠登録フォーム上に、住所等を記入して頂きますが、ここでの入力内容は学会名簿には反映されません。もし、住所等に変更がある場合には、ご自分で学会ホームページ右バナー「会員登録情報」から、直接、変更・修正して頂くか、委託事務局にご連絡下さい。また、会員情報の確認・変更に必要な ID・パスワードがご不明な場合も、委託事務局にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

委託事務局（学会支援機構 会員管理担当）

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13-4F

TEL:03-5981-6011

FAX：03-5981-6012

Eメール：sslaw@asas-mail.jp

※オンライン登録が難しい場合には、ハガキ（恐れ入りますが各自でご準備ください）に、氏名・所属・1日目の出欠・2日目の出欠・1日目の昼食の要否・情報交換会の出欠を記入し、5月10日（金）必着で学会事務局に郵送してください。

【送付先】〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 27-1
東北大学大学院法学研究科 嵩さやか研究室気付
日本社会保障法学会事務局

<重要> 第79回大会の報告レジュメ・資料のダウンロードについて

第79回大会の報告レジュメ・資料は、学会ホームページ上での配布となります（4月20日ごろを予定）。学会ホームページ右バナー「各種資料ダウンロード」をクリックし、「各種資料のダウンロード」>「第79回大会」欄にある「シンポジウム資料」に、下記のID、パスワードを入力し、ファイルを開いてください。

ID・パスワード：会報 web 版には記載しません

なお、5月17日ごろに、大会当日の各シンポジウムで使用する最終版の報告レジュメ・資料を掲載する予定です。報告レジュメ・資料をダウンロード・印刷する際にはご注意ください。

*会報 web 版にはID・パスワードは記載しません。情報管理の観点から、本部事務局・委託事務局ではパスワードの問い合わせにはお答えできません。

*大会終了から1か月を経過した時点で、レジュメは削除します。会員への個別のレジュメ送付、送信依頼には対応しませんのでご了承ください。

*第79回大会では、報告音声は学会ウェブサイトに掲載しませんのでご了承ください。